川東の里だより

No.107

2020
7

発行責任者　理事長　松尾　東司

発行所　社会福祉法人　川東の里
北見市川東226番地2/TEL(0157)24-3030

・きたみ学園・きたみ学園成人部・川東学園・友楽里・風楽里
・フレンズ・豆ちゃん・むぎわら・すたーと・あさひ45
・やまぶき寮・ほっと・あおぞら

万里一空の心（コロナに負けるな）

社会福祉法人 川東の里
施設長 島田英夫

私の好きな言葉の一つに万里一空という四字熟語があります。

その意味は、目的・目標、やるべきことを見失わずに励み、頑張り続けるという言葉です。

まさに今年は自分を見失うことは許されなく、的確な判断を求められています。また従事している職員も緊張の連続であり、いつになったら、「新型コロナウイルス感染症」が収束するか見当もつかない日々を送っています。

令和二年度を迎え、今年の夏は世界最大のスポーツと平和の祭典であるオリンピック・パラリンピック競技大会が再び東京で開催されることに誰もが心待ちにしていたことでしょう。

しかしながら、予想だにしない出来事が起こりました。

世界中を驚愕の恐怖に陥れた「新型コロナウイルス感染症」の出現でした。

毎日のように新聞やテレビ等で際限なく続く眼に見えない悪魔（コロナ）の報道。

我が国での感染者が確認されたのは一月末と思いますが、その後破竹の勢いで全世界へと感染が拡大して行きました。

初めは、やはりテレビで毎日放映されていたクルーズ船「ダイヤモンド・プリンセス号」が横浜港に寄港し感染者が確認された事からで、その後感染者が増え続けたところからだと記憶にしています。

また、オホーツク管内にも二月十三日から十五日北見綜合卸センターで開催された展示会において集団感染（クラスター）が、更に管内の病院や障がい者福祉施設等、次々と感染者が報告されました。

しかしながら、それぞれ担当して頂いたドクター他、医療従事者や施設職員の連携と適切な対応で感染者を最小限にとどめることが出来た事は、他の施設における対応の模範となり、心からその尽力に感謝いたします。

当法人としても、二月二十五日に緊急課長会議を開催し、「新型コロナウイルス対策本部」を設置、万が一感染した場合を想定し、最低限必要とする衛生用品等の確保や、他施設との情報交換、更には入所者さんの帰省禁止・楽しみにしているイベント等全て中止、安心・安全の観点から自粛規制続けてきました。

何度も規制緩和に踏み切ろうと思いましたが、反対に利用者さん達から、「先生たちが頑張っているから私たちも頑張るよ」の言葉や励まし、笑顔に何度も助けられました。

六月に入り、北海道も四月二十日から続けた休業要請の全面解除とし感染予防と社会・経済活動を両立させる新しい生活様式「新北海道スタイル」の実施を掲げました。当法人もこれら情報を見極めながら、ゆっくり焦らず、少しずつではありますが、危機感・緊張感を切らさず、規制緩和に向けて進めたらと思っています。

今後は「新川東の里スタイル」で一日一日を大切にし、利用者さんが日々いつもどおりの幸せな生活に戻れる様、努力していきます。

シェークスピアの「マクベス」で「この世に明けぬ夜は無し」とあります。

私たち職員はワンチームとなって、利用者さんの生命と権利を守るため、保護者の皆様のご理解と、地域住民の皆様更には関係機関のご協力を仰ぎながら、共に歩んでいきたいと思います。

コロナに負けない。コロナに負けるな。

社会福祉法人 川東の里 役員執行体制

理事長	松尾東司
副理事長	水口馨
常務理事	島田英夫
理事	村本慧乃
	小池唯夫
	皆川和雄
監事	小山穂積
	栗田博行
評議員会会長	相場雄幸
評議員	竹ケ原洋子
	杉山茂樹
	引地勝三
	伊藤俊文
	神田薫
	中川勝彦
第三者委員	
委員長	大橋美恵
委員	白石伸通
	鉄地河原直美

川東の里職員体制

施設長・管理者	島田英夫
参事	皆川和雄
参事 総務課長（事務取扱）	置田俊一
きたみ学園支援課 課長	工藤嗣巳
川東学園支援課 課長	前多智哉
友楽里・風楽里支援課 課長	岡村裕
フレンズ・豆ちゃん支援課 課長	菅野理恵
むぎわら・すたーと支援課 課長	上坂和人
地域生活支援センターあさひ45 所長	柴山小百合
グループホーム支援課 課長	串崎聡
総合相談支援センター 所長	天羽仁

令和元年度　事業報告書

1. 令和元年度事業経営について

1）福祉事業について

2019年度障がい福祉サービス等報酬改定　における主な改定内容としては、特に「新しい経済政策パッケージ」に基づく処遇改善についてである。その中でも注目されたのが「人づくり革命（介護人材の処遇改善）」であります。

具体的内容としては、人生100年時代において、介護は、誰もが直面し得る現実かつ喫緊の課題であります。政府は、在宅・施設サービスの整備の加速化や介護休業を取得しやすい職場環境の整備など、これまでも介護離職ゼロに向けた重層的な取組を進めてきたところであり、その中でも最大の課題は介護人材の確保であります。介護人材を確保するため、2017年度予算においては、介護職員について、経験などに応じて昇給する仕組みを創り、月額平均1万円相当の処遇改善を行うなど、これまで自公政権で月額4万7000円の改善を実現してきましたが、介護人材確保のための取組をより一層進めるため、経験・技能のある職員に重点化を図りながら、介護職員の更なる処遇改善を進めたところであります。具体的には、他の介護職員などの処遇改善にこの処遇改善の収入を充てることができるよう柔軟な運用を認めることを前提に、介護サービス事業所における勤続年数10年以上の介護福祉士について月額平均8万円相当の処遇改善を行うことを算定根拠に処遇改善を行い、また、障がい福祉人材についても、介護人材と同様の処遇改善を行う。というもので、当法人も労使間協定（合意）のもと理事・評議員の皆様にご承認を頂き実施を図ったところです。

また、当法人が最も注目したのが、身体拘束廃止未実施減算の取扱いについてであります。厚生労働省社会・援護局通知に基づき、（障害福祉サービス等報酬に関するＱ＆Ａ）実施してきました。

身体拘束廃止未実施減算の取扱いとしては、次において、示されているところでありますが、やむを得ず身体拘束を行う場合における当該減算の適用の可否にあたっては、これらの取扱いを十分に踏まえつつ、判断していただきたいというものです。

① 利用者に係る座位保持装置等に付属するベルトやテーブルは、脊椎の側わんや、四肢、関節等の変形・拘縮等の進行あるいは防止のため、医師の意見書又は診断書により製作し、使用していることに留意する。

② その上で、身体拘束に該当する行為について、目的に応じて適時適切に判断し、利用者の状態・状況に沿った取扱いがなされているか。

③ その手続きについては障害福祉サービス等の事業所・施設における組織による決定と個別支援計画への記載が求められるが、記載の内容については、身体拘束の様態及び時間、やむを得ない理由を記載し、関係者間で共有しているか。

なお、ケア記録等への記載については、必ずしも身体拘束を行う間の常時の記録を求めているわけではなく、個別支援計画には記載がない緊急やむを得ず身体拘束を行った場合には、その状況や対応に関する記載が重要である。

④ 行動障がい等に起因する、夜間等他利用者への居室への侵入を防止するために行う当該利用者居室の施錠や自傷行為による怪我の予防、保清を目的とした不潔行為防止のための身体拘束については頻繁に状態、様態の確認を行われている点に留意願いたい。

⑤ これらの手続きや対応について、利用者や家族に十分に説明し、了解を得ているか。

⑥ なお、身体拘束の要件に該当しなくなった場合においては、速やかに解除することについてもご留意願いたい。以上を踏まえ、最終的には利用者・家族の個別具体的な状況や事情に鑑み、判断されたい。 なお、今般のＱ＆Ａについては、今後以下の「手引き」においても盛り込むことを予定しているなど、6項目について通知があったところです。

これら条項に基づき当法人も身体拘束防止委員会において、利用者さんの身体の状況等を委員会で協議し、他の代替え手段が無いか等を検証し、やむを得ない場合は、保護者等の理解同意を受けながら、安全確保に努めて参りました。

2）就労支援事業について

① 障害者優先調達推進法に基づく調達の推進について

当法人の加工食品（豆腐・パン・ハム等）や野菜については、北見市や学校給食センター等計画的に購入依頼を受けておりますが、当方の都合（利用者の高齢化や専門指導者不足）等から、年々受注が減少しているのが現状であります。

② 農福連携の推進について

農業分野と福祉の連携（農福連携）については、

・多様な農作業を通じて、様々な障害者がそれぞれの特性と得意な能力に沿った多様な業務に従事することができ、障害者の働く場の拡大につながることが示されました。

・有機農法や６次産業化等による高品質な商品の開発が障がい者の所得の増加につながることなどから、就労継続支援事業所等における賃金・工賃の向上とともに、農業従事者の減少、高齢化等が課題となっている農業分野における支え手の拡大にもつながる重要な取組であるので検討課題の一つであると考えています。

③障がい者の工賃・賃金の向上について

障がい者が地域で自立した生活を送るための基盤として、就労支援は重要であり、一般就労を希望する方には できる限り一般就労していただけるよう支援するとともに、一般就労が困難である方には、就労継続支援事業所での工賃・賃金の水準が向上するよう支援することが必要であります。

就労継続支援Ｂ型事業所の全国の平均工賃月額（平成29年度）は、増加傾向にあるものの、15,603円となっており、障害者が自立した生活を送るためには未だ十分とは言えず、一層の工賃の向上が求められます。また、就労継続支援Ａ型事業所の全国の平均賃金月額（平成29年度）は74,085円となっていますが、障がい者が安心して働き続けられるように生産活動収支から賃金を支払えるようになることを原則とし、一層の賃金の向上を目指すべきであります。（当法人はＡ型事業所はない。）今後においては事業所の在り方や職種の見直しなどを検討課題として利用者さんに取って何が必要か等、一定の方向性を検索しながら、中長期計画（施設整備等含む）に計上していきたいと考えております。（課題～老齢化による生活介護者の増加に対応できる事業所の創設）

2. 施設等整備について

施設整備等については、施設等整備計画に基づき次のとおり施設等の整備を図りました。

◆令和元年度施設等整備内訳

1）就職情報サイト登録等委託事業
2）内部体制構築事業コンサルティング事業
3）きたみ学園テレビ購入事業（短期入居室・ゲストルーム）
4）通所施設修繕工事（ボイラー他）
5）豆ちゃん保冷車購入
6）むぎわら農耕用トラクター更新事業（中古車）
7）グループホーム設計委託事業
8）しらかば荘外壁・屋根修繕工事
9）各事業所ＰＣ更新事業
10）あさひ４５公用車更新事業（居宅介護用）
11）ＮＡＳ（ネットワークＨＤＤ）購入事業
12）プロジェクター購入事業
13）あさひ45非常階段修繕工事
14）複写機（コピー機）更新事業
15）その他　小破修繕・物品購入事業

3. 理事会・評議員会開催及び監事監査実施状況について

会務の運営について

(1) 理事会の議事に関する事項

開催年月日	開催場所	主な付議事項
第1回　通常 令和元年 6月12日（水）	あさひ45会議室 理事６名中６名出席 監事２名出席	付議案件 議案第1号　平成30年度川東の里補正予算の専決について 議案第2号　川東の里職員給与規程の一部改正について 議案第3号　川東の里準職員等給与規程の一部改正について 議案第4号　川東の里臨時職員賃金規程の一部改正について 議案第5号　川東の里特別職員就業規則の一部改正について 議案第6号　川東の里再雇用職員就業規則の一部改正について 議案第7号　平成30年度川東の里事業報告について 議案第8号　平成30年度川東の里決算について 議案第9号　令和元年度定時評議員会の招集について 議案第10号 令和元年度川東の里補正予算について 議案第11号 川東の里次期理事候補者名簿の提出について 議案第12号 川東の里次期監事候補者名簿の提出について 議案第13号 理事長の選定（予選）について 議案第14号 副理事長の選定（予選）について 議案第15号 常務理事の選定（予選）について 報告第1号　理事長、副理事長及び常務理事の職務の執行状況について その他 １．平成30年度決算に基づく「社会福祉充実残額」の算定結果について ２．重度高齢化グループホームの建設について ３．川東の里元職員からの損害賠償請求について
第２回　通常 令和元年 ９月18日(水)	あさひ45会議室 理事６名中６名出席 監事２名出席	付議案件 議案第１号　基本財産の取得について 議案第２号　令和元年度処遇改善加算に伴う賃金改善の実施について 議案第３号　川東の里再雇用職員就業規則の一部改正について 議案第４号　川東の里特別職員就業規則の一部改正について 議案第５号　川東の里職員給与規程の一部改正について 議案第６号　川東の里準職員等給与規程の一部改正について 議案第７号　日中サービス支援型グループホーム整備事業実施設計業務委託契約について 議案第８号　令和元年度川東の里補正予算について 議案第９号　令和元年度第1回臨時評議員会の招集について 報告第１号　川東の里監事監査の実施結果について 報告第２号　理事長、副理事長及び常務理事の職務の執行状況について その他 １）重度高齢化グループホームの用地について ２）平成30年度決算に基づく「社会福祉充実残額」の算定結果について
第３回　通常 令和元年 12月13日(金)	あさひ45会議室 理事６名中６名出席 監事２名出席	付議案件 議案第１号　基本財産の取得について 議案第２号　令和元年度川東の里補正予算について 議案第２号　令和元年度第2回臨時評議員会の招集について 報告第１号　川東の里監事監査の実施結果について 報告第２号　理事長、副理事長及び常務理事の職務の執行状況報告について その他 １）グループホームの耐震化に向けたさかえ寮の移転新築について
第１回　臨時 令和２年 ２月３日（月）	川東の里本館会議室 理事６名中６名出席 監事１名出席	付議案件 報告第１号　応訴について その他

開催年月日	開催場所	主な付議事項
第４回　通常 令和２年 ３月19日(木)	新型コロナウイルスに係る書面決議	付議案件 議案第１号　社会福祉法人川東の里定款の一部改正について 議案第２号　令和2年度処遇改善加算に伴う賃金改善の実施について 議案第３号　川東の里再雇用職員就業規則の一部改正について 議案第４号　川東の里特別職員就業規則の一部改正について 議案第５号　川東の里職員給与規程の一部改正について 議案第６号　川東の里準職員等給与規程の一部改正について 議案第７号　川東の里臨時職員賃金規程の一部改正について 議案第８号　入所施設（きたみ学園及び川東学園）の給食業務委託契約について 議案第９号　令和元年度川東の里補正予算について 議案第10号　令和2年度川東の里事業計画について 議案第11号　令和2年度川東の里予算について 議案第12号　福祉サービスに係る苦情解決に関する第三者委員会委員の選任について 議案第13号　施設長及び重要な職員の任免について 議案第14号　川東の里評議員選任・解任委員会委員の選任について 議案第15号　令和元年度第3回第3回臨時評議員会の招集について 報告第１号　川東の里監事監査の実施結果について 報告第２号　理事長、副理事長及び常務理事の職務の執行状況について 報告第３号　入札執行結果について その他

(2) 評議員会の議事に関する事項

開催年月日	開催場所	主な付議事項
定　時 令和元年 ６月27日（木）	あさひ45会議室 評議員7名中7名出席 理　事6名中6名出席 監　事2名出席	付議案件 報告第１号　平成30年度川東の里事業報告について 議案第１号　平成30年度川東の里補正予算の専決について 議案第２号　平成30年度川東の里決算について 議案第３号　令和元年度川東の里補正予算について 議案第４号　川東の里次期理事の選任について 議案第５号　川東の里次期監事の選任について その他 １）平成30年度決算に基づく「社会福祉充実残額」の算定結果について ２）重度高齢化グループホームの建設について ３）川東の里元職員からの損害賠償請求について
第１回　臨時 令和元年 ９月27日（木）	あさひ45会議室 評議員7名中6名出席 理　事6名中6名出席 監　事2名出席	付議案件 議案第１号　令和元年度川東の里補正予算について その他 １）重度高齢化グループホームの用地について ２）平成30年度決算に基づく「社会福祉充実残額」の算定結果について
第２回臨時 令和元年 12月13日（金）	あさひ45会議室 評議員7名中7名出席 理　事6名中4名出席 監　事2名出席	付議案件 議案第１号　令和元年度川東の里補正予算について その他 １）グループホームの耐震化に向けたさかえ寮の移転新築について
第３回臨時 令和２年 ３月27日（金）	あさひ45会議室 書面による議決	付議案件 議案第１号　社会福祉法人川東の里定款の一部改正について 議案第２号　令和元年度川東の里補正予算について 議案第３号　令和2年度川東の里事業計画について 議案第４号　令和2年度川東の里予算について その他

令和元年度 川東の里決算

令和２年度社会福祉法人川東の里理事会及び評議員会が去る令和２年６月開催され、当法人及び全事業所の事業報告及び決算報告が承認されました。

なお、紙面の都合もあり、各会計の決算内容は法人本部川東の里において開示いたしております。

賃　借　対　照　表

令和２年３月31日現在　　（単位：円）

	科目名称	当年度末	前年度末	増減
資産の部	流動資産	802,720,147	774,015,152	28,704,995
	現金預金	466,866,533	460,353,345	6,513,188
	有価証券	19,000	19,000	0
	事業未収金	247,544,386	305,569,458	△ 58,025,072
	未収補助金	81,101,000		81,101,000
	商品・製品	4,655,000	4,805,000	△ 150,000
	立替金	45,075		45,075
	前払金	946,259	946,081	178
	前払費用	1,517,894	2,318,668	△ 800,774
	仮払金	25,000	3,600	21,400
	固定資産	2,776,783,932	2,758,131,113	18,652,819
	基本財産	1,500,574,809	1,535,193,421	△ 34,618,612
	土地	191,130,161	168,453,107	22,677,054
	建物	2,300,028,396	2,300,028,396	0
	減価償却累計額　基本財産	△ 990,583,748	△ 933,288,082	△ 57,295,666
	その他の固定資産	1,276,209,123	1,222,937,692	53,271,431
	建物	21,653,128	21,653,128	0
	構築物	39,053,920	39,053,920	0
	機械及び装置	8,645,910	8,645,910	0
	車両運搬具	83,161,506	75,277,538	7,883,968
	器具及び備品	113,148,155	107,650,406	5,497,749
	建設仮勘定	12,981,200		12,981,200
	ソフトウェア	1,953,004	2,709,003	△ 755,999
	投資有価証券		55,510,268	△ 55,510,268
	退職給付引当資産	115,064,200	110,918,245	4,145,955
	運営費積立資産	799,538,599	702,402,947	97,135,652
	修繕積立資産	18,950,000	18,950,000	0
	車両運搬具積立資産	6,300,000	6,300,000	0
	備品等積立資産	38,900,000	38,900,000	0
	減価償却積立資産	199,600,000	199,600,000	0
	工賃変動積立資産	3,909,714	3,909,714	0
	就労支援設備等整備積立資産	7,223,332	7,223,332	0
	減価償却累計額　建物	△ 10,729,225	△ 8,693,437	△ 2,035,788
	減価償却累計額　構築物	△ 15,212,699	△ 12,649,389	△ 2,563,310
	減価償却累計額　機械及び装置	△ 5,048,524	△ 4,252,503	△ 796,021
	減価償却累計額　車両運搬具	△ 69,719,081	△ 62,407,652	△ 7,311,429
	減価償却累計額　器具及び装置	△ 93,164,016	△ 87,763,738	△ 5,400,278
	資産の部合計	3,579,504,079	3,532,146,265	47,357,814

	科目名称	当年度末	前年度末	増減
負債の部	流動負債	211,874,363	274,124,059	△ 62,249,696
	事業未払金	178,723,386	230,542,148	△ 51,818,762
	１年以内返済予定設備資金借入金	22,190,000	22,190,000	0
	預り金	27,490	8,494,501	△ 8,467,011
	職員預り金	3,076,069	4,353,091	△ 1,277,022
	仮受金	7,857,418	8,544,319	△ 686,901
	固定負債	137,254,200	155,298,245	△ 18,044,045
	設備資金借入金	22,190,000	44,380,000	△ 22,190,000
	退職給付引当金	115,064,200	110,918,245	4,145,955
	負債の部合計	349,128,563	429,422,304	△ 80,293,741

	科目名称	当年度末	前年度末	増減
純資産の部	基本金	250,739,493	250,739,493	0
	国庫補助金等特別積立金	554,416,024	492,508,169	61,907,855
	その他の積立金	1,074,421,645	977,285,993	97,135,652
	運営費積立金	799,538,599	702,402,947	97,135,652
	修繕積立金	18,950,000	18,950,000	0
	車両運搬具積立金	6,300,000	6,300,000	0
	備品等積立金	38,900,000	38,900,000	0
	減価償却積立金	199,600,000	199,600,000	0
	工賃変動積立金	3,909,714	3,909,714	0
	就労支援設備等整備積立金	7,223,332	7,223,332	0
	次期繰越活動増減差額	1,350,798,354	1,382,190,306	△ 31,391,952
	（うち当期活動増減差額）	65,743,700	104,377,732	△ 38,634,032
	純資産の部合計	3,230,375,516	3,102,723,961	127,651,555
	負債及び純資産の部合計	3,579,504,079	3,532,146,265	47,357,814

事業活動計算書

（自）平成31年４月１日　（至）令和２年３月31日

（単位：円）

勘定科目			当年度決算（A）	前年度決算（B）	増減（A）－（B）
サービス活動増減の部	収益	児童福祉事業収益	22,887,944	29,022,532	△ 6,134,588
		就労支援事業収益	69,248,720	69,618,037	△ 369,317
		障害福祉サービス等事業収益	1,079,238,968	1,086,645,853	△ 7,406,885
		公益事業収益	31,675,729	30,903,000	772,729
		経常経費寄附金収益	693,400	2,258,940	△ 1,565,540
		サービス活動収益（1）	1,203,744,761	1,218,448,362	△ 14,703,601
	費用	人件費	807,115,394	775,710,052	31,405,342
		事業費	100,135,769	99,505,799	629,970
		事務費	116,167,155	113,162,281	3,004,874
		就労支援事業費用	108,603,068	108,528,327	74,741
		減価償却費	77,186,649	82,359,544	△ 5,172,895
		国庫補助金等特別積立金取崩額	△ 19,193,145	△ 23,650,486	4,457,341
		サービス活動費用計（2）	1,190,014,890	1,155,615,517	34,399,373
	サービス活動増減差額（3）＝（1）－（2）		13,729,871	62,832,845	△ 49,102,974
サービス活動外増減の部	収益	借入金利息補助金収益	828,240	1,104,320	△ 276,080
		受取利息配当金収益	94,124	148,702	△ 54,578
		その他のサービス活動外収益	28,739,975	22,276,722	6,463,253
		サービス活動外収益（4）	29,662,339	23,529,744	6,132,595
	費用	支払利息	828,240	1,104,320	△ 276,080
		有価証券評価損	10,268	41,070	△ 30,802
		サービス活動外費用計（5）	838,508	1,145,390	△ 306,882
	サービス活動外増減差額（6）＝（4）－（5）		28,823,831	22,384,354	6,439,477
経常増減差額（7）＝（3）＋（6）			42,553,702	85,217,199	△ 42,663,497
特別増減の部	収益	施設整備等補助金収益	103,291,000	22,190,000	81,101,000
		施設整備等寄附金収益	1,000,000	1,000,000	0
		拠点区分間固定資産移管収益	1,527,090	82,119,379	△ 80,592,289
		特別収益計（8）	105,818,090	105,309,379	508,711
	費用	固定資産売却損・処分損	2	26	-24
		国庫補助金等特別積立金積立額	81,101,000	4,029,441	77,071,559
		拠点区分間固定資産移管費用	1,527,090	82,119,379	△ 80,592,289
		特別費用計（9）	82,628,092	86,148,846	△ 3,520,754
	特別増減差額（10）＝（8）－（9）		23,189,998	19,160,533	4,029,465
当期活動増減差額（11）＝（7）＋（10）			65,743,700	104,377,732	△ 38,634,032
繰越活動増減	前期繰越活動増減差額（12）		1,382,190,306	1,403,812,574	△ 21,622,268
	当期末繰越活動増減差額（13）＝（11）＋（12）		1,447,934,006	1,508,190,306	△ 60,256,300
	基本金取崩額（14）				
	その他の積立金取崩額（15）		28,364,348	21,000,000	7,364,348
	その他の積立金積立額（16）		125,500,000	147,000,000	△ 21,500,000
	次期繰越活動増減差額（17）＝（13）＋（14）＋（15）－（16）		1,350,798,354	1,382,190,306	△ 31,391,952

資金収支計算書

（自）平成31年４月１日　（至）令和２年３月31日

（単位：円）

勘定科目			予算（A）	決算（B）	差額（A）－（B）
事業活動による収支	収入	児童福祉事業収入	21,976,000	22,887,944	△ 911,944
		就労支援事業収入	70,862,000	69,248,720	1,613,280
		障害福祉サービス等事業収入	1,074,160,000	1,079,238,968	△ 5,078,968
		公益事業収入	31,584,000	31,675,729	△ 91,729
		借入金利息補助金収入	830,000	828,240	1,760
		経常経費寄附金収入	1,000,000	693,400	306,600
		受取利息配当金収入	161,000	94,124	66,876
		その他の収入	27,011,000	28,739,975	△ 1,728,975
		事業活動収入計（1）	1,227,584,000	1,233,407,100	△ 5,823,100
	支出	人件費支出	803,652,000	795,372,194	8,279,806
		事業費支出	118,802,000	100,135,769	18,666,231
		事務費支出	135,587,000	116,167,155	19,419,845
		就労支援事業支出	123,788,000	108,453,068	15,334,932
		支払い利息支出	829,000	828,240	760
		事業活動支出計（2）	1,182,658,000	1,120,956,426	61,701,574
	事業活動資金収支差額（3）		44,926,000	112,450,674	△ 67,524,674
施設整備等による収支	収入	施設整備等補助金収入	103,300,000	103,291,000	9,000
		施設整備等寄附金収入	1,000,000	1,000,000	0
		施設整備等収入計（4）	104,300,000	104,291,000	9,000
	支出	設備資金借入金元金償還支出	22,192,000	22,190,000	2,000
		固定資産取得支出	54,650,000	50,068,131	4,581,869
		施設整備等支出計（5）	76,842,000	72,258,131	4,583,869
	施設整備等資金収支差額（6）＝（4）－（5）		27,458,000	32,032,869	△ 4,574,869
その他の活動による収支	収入	投資有価証券売却収入	55,500,000	55,500,000	
		積立資産取崩収入	44,376,000	28,364,348	16,011,652
		その他の活動収入計（7）	99,876,000	83,864,348	16,011,652
	支出	積立資産支出	164,347,000	137,243,200	27,103,800
		その他の活動支出計（8）	164,347,000	137,243,200	27,103,800
	その他の活動資金収支差額（9）＝（7）－（8）		△ 64,471,000	△ 53,378,852	△ 11,092,148
予備費支出（10）					0
当期資金収支差額計（11）＝（3）＋（6）＋（9）－（10）			7,913,000	91,104,691	△ 83,191,691
前期末支払資金残高（12）			517,280,000	517,276,093	3,907
当期末支払資金残高（11）＋（12）			525,193,000	608,380,784	△ 83,187,784

令和2年度 社会福祉法人「川東の里」事業計画書

１．法人経営の基本について

社会福祉法人「川東の里」は、法人の基本理念に基づき、国の知的障がい児・者に関する各法の趣旨に沿って利用者本人の意思決定に配慮し、個人の尊厳を大事にして支援に臨み、以下の経営の基本を定めます。

また、長年実施してきた事業の成果を常に検証しながら、更に「課題を再確認」することも踏まえ、それが、利用者に向き合う私たちの責任であることを、より明確にしたうえ、令和２年度事業計画とそれに伴う予算を編成しました。

【法人の基本理念】
◆ 人間の尊厳を大切にする。
◆ 社会的自立生活を促進する。
◆ 健全育成援護の実現を図る。
◆ 自然と調和した勤労を重視する。

２．施設経営と事業展開

施設・事業所名称	施設・事業種別・定員	事業内容
きたみ学園 きたみ学園児童短期入所 きたみ学園短期入所	障がい児入所支援　7名 生活介護　23名 施設入所支援　23名 児童短期入所（併設型）　4名 短期入所（空床型）　4名	・日中、夜間生活支援 ・軽作業（きのこ栽培） ・在宅児・者の受け入れ
きたみ学園成人部	生活介護　30名 施設入所支援　30名	・日中、夜間生活支援 ・軽作業（きのこ栽培）
川東学園 川東学園短期入所	生活介護　60名 施設入所支援　60名 短期入所（空床型）　4名	・日中、夜間生活支援 ・軽作業（小動物飼育等） ・在宅者の受け入れ
友楽里（ゆうらり）	生活介護　40名	・日中生活の支援 ・軽作業（園芸、箱折り、段ボール販売等）
風楽里（ふうらり）	就労継続支援Ｂ型　30名 就労移行支援　10名	・パン製造、販売 ・清掃業務・就労支援 ・配食サービス
フレンズ	就労継続支援Ｂ型　20名	・食肉加工 ・北見市委託事業（霊園管理、ファミリーランド動物管理）
豆ちゃん	就労継続支援Ｂ型　20名	・豆腐製造、販売 ・生産物の販売
むぎわら	生活介護　20名	・日中生活の支援 ・養豚、農耕作業
すたーと	生活介護　20名	・日中生活の支援 ・軽作業（にんにく加工作業）
地域生活支援センターあさひ45		
・川東の里放課後等デイサービス事業所	放課後等デイサービス　10名	・学齢児の放課後及び休日支援
・川東の里日中一時支援事業所	日中一時支援　20名	・日中在宅児・者の受入れ
・川東の里居宅介護事業所 ・川東の里移動支援事業所	居宅介護（契約者数　12名） 移動支援（契約者数　135名）	・在宅者の介護及び生活支援
やまぶき寮	共同生活援助　69名 （介護サービス包括型）	・地域生活支援
障がい者相談支援センター ほっと	計画相談支援 障がい児相談支援 地域相談支援 （地域移行支援・地域定着支援）	北見市委託 ・障がい程度区分認定調査 ・福祉サービスの情報提供等 ・障がい者支援ネットワークの運営 計画相談支援・地域相談支援
障がい者就業・生活支援センター あおぞら	障がい者就労支援 障がい者生活支援	・就労相談（準備・定着・継続・職場の開拓） ・生活面の相談・支援 ・他機関との連絡調整

３．整備等事業について

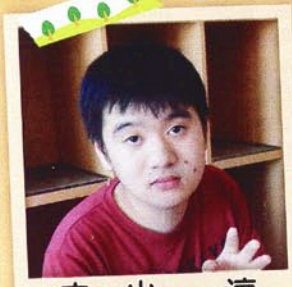
令和２年度において、中長期整備計画に基づき、各事業所の利用者に安全・快適な生活や作業環境を提供することとし、次の整備等事業を実施します。

◆施設等関係（主なもの）

1）就職情報サイト登録委託料　（総務課）
2）きたみ学園入所者居室修繕　（きたみ学園）
3）本　館　床修繕　（きたみ・川東学園）
5）本　館　LED照明器具更新事業（きたみ学園）
6）本　館　アスファルト補修工事（きたみ学園）
7）豚舎修繕工事（換気扇設置含む）　（むぎわら）
8）新さかえ寮新築工事　（やまぶき寮）
9）新さかえ寮外構工事　（やまぶき寮）
10）日中サービス支援型GH建設工事　（やまぶき寮）
11）日中サービス支援型GH外構工事　（やまぶき寮）
12）日中サービス支援型GH建設管理監督（やまぶき寮）

新利用者紹介

4月から風楽里就労移行に入りました。学習・作業トレーニング・体力作り等を積み、就職を目指していきたいです。
7月からグループホームに入り、今まで経験したことがない事をたくさん経験していきたいと思います。頑張ります！！



中山　涼
所属：きたみ学園 学校班

4月からきたみ学園に入所になりました。北見支援学校に通っている高校1年生です。食べることが大好きで、学校の給食や学園のご飯をモリモリ食べています。学校では、ウォーキングや作業に取り組んでいて、休み時間にはビデオを見て過ごしています。機嫌が良い時は鼻歌を歌ったり、学校や学園のお友達と一緒に楽しく過ごしています。

髙橋 海空
所属：風楽里

佐々木 悠真（ゆうき）
所属：風楽里 就労移行

まだ慣れていませんが一般就労できるよう頑張りたいと思います。

一般就労のリクルートオフィスに就職できるよう頑張っています。

堀江 未有（みゆう）
所属：風楽里 就労移行

吉田 みつき
所属：友楽里 エンジョイ班

楽しくやっていきたいです。

みんな仲良くしてね！

鈴木 絵里香
所属：友楽里 エンジョイ班

新職員紹介

① 所属名
② 特技・趣味
③ 川東の里に勤めて感じたこと
④ 今後の抱負

置田　俊一

① 総務課 参事・総務課長（事務取扱）
② 計算 買い物代や飲み代の割り勘に便利です。囲碁・将棋などのゲームごとが好きです。
③ ひと昔のことですが、高校時代ホーチプ会の活動で訪れたことがあります。その時は児童が中心でした。今は年長の方も入所していること、通所も合わせて多くの方がいること、幅広く事業を展開していることに驚いています。
④ いろいろな事を理解し、早く皆さんの力になれるよう頑張ります。コロナ感染病対策に利用者も我慢しています。職員も共に頑張りましょう。

吉田　直弘

① 総務課
② 野球・子供の少年野球観戦
③ 利用者さんは、のびのびと楽しく生活でしたり、仕事をされている印象で、職員のみなさんも利用者さんを上手にサポートをして楽しく仕事をされていると感じました。
④ 営繕車輌係ですので、利用者さんを支援させていただく機会は少ないのですが、自分に与えられた仕事を一生懸命、安全運転で頑張っていきます。

上瀧健太朗

① きたみ学園　成人部
② 読書と寝ること
③ 川東の里に勤めて感じたことは、先輩方から学んだことを実践し、自分なりに考えて実践することが思うように出来ず難しく感じました。
④ 今後の抱負としては、入居者一人一人とよりよい関係を築き、私自身の視野を広げていくことを頑張っていこうと思っています。

浜埜　孝文

① 友楽里
② 車、バイクいじり、子供と全力でままごと
③ 利用者さんも、先輩職員さんも皆さん優しくて、楽しくお仕事をさせていただいています。川東の里の職員になれて大変嬉しく思います。
④ 今後も各利用者さんの障害、特性、個性など理解を深めて、利用者の皆さんが安心安全に生活出来るようにより良い支援が出来るように努めていきます。

金兵　優茉

① 川東学園
② 特技は、バドミントンです。趣味は、音楽を聴いたりピアノを弾いたりする事です。
③ 一人ひとりの理解や関わり方が様々であり、利用者さんにあった支援の仕方も違うので大変なお仕事だと感じました。もっと沢山の利用者さんと関わり、支援していきたいと思っています。
④ まだまだ失敗する事も多く、関わりが少ない利用者さんも居るので一人ひとりの個性を理解し一人ひとりに合った、支援をしていける様、頑張りたいです。

感染症に気をつけて活動してます！

きたみ学園のブランコで遊ぶ二人

きたみ学園のブランコを借りて遊びました。

エンジョイ班 土曜日の調理実習の様子

豆ちゃん

餃子を作って食べました（o^―^o）
「マスクと手袋で気を付けながら作りました！」

風楽里

あさひ45

友楽里

いただきま～す♥

すたーと・むぎわら

フレンズ

川東学園

きたみ学園

皆様からのたくさんのご厚情ありがとうございました。

〈寄付金〉

北見北交ハイヤー株式会社
　取締役社長　森川　清隆　様
北見北交ハイヤー株式会社
　乗務員一同　様
イトーヨーカドー労働組合
　北見支部　様
㈲ヘアーショップ新世界　様
医療法人社団光優会
　のみやま眼科
　理事長　野見山　豪　様
川東の里施設整備をすすめる会
　会長　竹ケ原洋子　様

〈寄贈品〉

北見市赤十字奉仕団
北見地区委員長　徳本紀恵子　様
きたみらい農業協同組合
販売企画部企画開発グループ　様
㈱マルハン端野店　様
国際ソロプチミスト北見みんと
　会長　出水　京子　様
司工業
　代表　樽見　輝夫　様
川崎　洋子　様

退職・採用職員紹介

〈退職〉

大村博之
橋本厚子
土居ひとみ

〈採用〉

置田俊一
上瀧健太朗
金兵優茉
吉田直弘

障がい文言集

「しょうがい」の表記

「障害」と「障がい」の表記を巡ってさまざま議論があります。「障害」の「がい」という字はもともとは「碍」でしたが、戦後の当用漢字の整理の中で「碍」が外れたため、「害」が当てられました。ただこの字はマイナスのイメージがあり、不快に感じる人もいます。

当事者団体からの要望もあり、自治体の中には「害」をひらがなにし、「障がい」と表記するところも多く、個人的な考え方で使い分けている場合があります。「障害」も「障がい」も、どちらも問題意識をもっている点では同じです。問題なのは、無自覚に差別的な使い方がされることや、全くの無関心、無理解です。少し立ち止まって「もし自分だったらどう感じるだろう」と相手の立場に思いをはせ、想像力を働かせてみましょう。

川東の里BC始動!!

コロナウイルスの影響で延期になっていた、朝野球が7月1日に開幕しました。

１０年前の感覚で試合に臨みましたが、思いとは裏腹に、言う事を聞いてくれない身体・・・。

随所に光るプレイもありましたが、２試合を行い結果は惜しくもリーグ戦敗退。

職員や、懐かしい OB の方々も応援に駆けつけてくれましたが、勝つことが出来ずに残念でした。（懲りずにまた応援お願いします。）

今年は、１大会のみで終了となりますが、来年こそは、何とか勝ちを報告出来るように頑張ります。

編集後記

早くも令和二年度も四か月が経とうとしています。新年度がスタートしましたが、世間は新型コロナウイルスによる感染拡大が止まらず、今までに例のない新年度のスタートとなりました。川東の里でも、入所通所関わらず始業式の中止に始まり、感染防止の為の通所利用停止、入所利用者の帰省外出中止等、窮屈な生活が強いられました。そんな中ですが、緊急事態宣言も解除され、少しづつではありますが、感染予防に努めながらも普段と変わらない生活が送れる様、職員一同支援に当たっています。夏から秋にかけて、コロナウイルスの収束と共に、以前と変わらない生活を安心して送る事が出来、皆さんにとって笑顔の絶えない一年となります様、職員一同、支援に取り組んでいきたいと思います。最後になりましたが、今後とも変わらぬご理解とご協力の程、よろしくお願いします。

佐藤　智美